



Site Reliability Engineering
(SRE) PractitionerSM

Syllabus



Official Training Materials



Site Reliability Engineering (SRE) PractitionerSM 資格

Site Reliability Engineering (SRE) Practitioner は、DevOps Institute が提供する独立した認定資格です。この資格と関連するコースの目的は、高度なSREの実践、手法、ツールの知識、理解、適用を習得し、テストし、検証することです。SRE Practitionerは、大規模なサービスのスケーラビリティと信頼性を重視し、最新のITリーダーシップと組織変革のアプローチに関心のある方を対象としています。

受験資格

SRE Practitioner認定試験を受験するためには、以下の前提条件を満たしている必要があります。

- 受験者は、DevOps InstituteのSRE Foundation認定を完了し、取得することが強く推奨されます。
- 試験のための正式なトレーニングの前提条件はありませんが、受験者は試験準備のために、DevOps Instituteの認定教育パートナーが提供する正式な認定トレーニングを24時間以上受講することを強く推奨しています。

試験運営

SRE Practitioner資格は、DevOps Instituteの厳格なプロトコルおよび基準のもとで認定、管理、運営されています。

難易度

SRE Practitioner資格は、その内容と試験の構成において、ブルーム分類学に基づく教育目標が用いられています。

- SRE Practitioner試験には、高度なSREの用語や概念に関する知識を問うBloom 1問題が含まれています。
- SRE Practitioner試験には、高度なSREの用語や概念の理解度を問うBloom 2問題が含まれています。
- また、ブルーム3問題では、学習者が様々な文脈で高度なSREの概念を適用しているかどうかをテストします。

試験の形式

SRE Practitioner資格を取得するには、以下の試験を受験し合格する必要があります。

試験の種類	40の多肢選択問題
期間	90分(途中で中断はできません)
前提条件	SRE Practitioner試験を受験する前に、DevOps InstituteのSRE Foundation資格を取得することが強く推奨されています。 また、受験者はDevOps Instituteの認定教育パートナーからSite Reliability Engineering (SRE) Practitionerコースを修了することが強く推奨されています。
試験官	試験官なしで受験することが可能
オーブンブック	資料などの閲覧可能
合格点	65%
配送	Webベース
バッジ	SRE Practitioner認定

試験のトピック領域と問題の重み付け

SRE Practitioner試験では、以下に説明するトピック領域の知識が求められます。

トピックエリア	説明	最大質問数
SREP - 1:	SREのアンチパターン	5
SREP - 2:	SLOは顧客幸福の代理人である	5
SREP - 3:	安全で信頼性の高いシステムの構築	8
SREP - 4:	フルスタックの可観測性	5
SREP - 5:	プラットフォームエンジニアリングとAIOpsの活用	6
SREP - 6:	SREとインシデントレスポンス管理	4
SREP - 7:	カオスエンジニアリング	4

SREP - 8:	SREはDevOpsの最も純粋な形態である	3
-----------	-----------------------	---

概念・用語一覧

以下のSREの概念や用語をBlooms レベル1(知識)、レベル2(理解)、レベル3(応用)で理解・把握し、応用することが期待されます。

- AIOps
- DataOps
- DiRT(ディザスタリカバリーテスト)
- MITRE ATT&CK
- Multi-Grained Service Architecture
- OODAループ
- イミュータブル
- インシデントコマンドフレームワーク
- インシデントレスポンスの主要原則
- インストールメンテーション
- エラーバジェット
- オートリメディエーション
- 開発ライフサイクル
- カオスエンジニアリング
- 可観測性
- 可観測性の3本柱
- カスタムリソース定義(CRD)
- カナリア展開
- ガラスを割る仕組み
- グーグルのゴールドেনシグナル
- クーベルネッツ
- ゲームデイズ
- コンテナ
- サービス品質(QOS)
- サービスメッシュ
- サービスレベルアグリーメント(SLA)
- サービスレベルインジケータ(SLI)
- サービスレベルオブジェクティブ(SLO)
- システムのバウンダリー
- シフトレフト
- 重大インシデント対応
- 信頼性
- スウォーミング
- スケールアップ
- ディザスタリカバリ
- テレメトリー
- ドメインネームシステム(DNS)
- ネットワークオペレーションセンター(NOC)
- ビジネス・コンテキスト
- 非抽象の大規模デザイン (NALSD)
- 分散型エコシステム
- 分散型トレース
- 平均検出時間(MTTD)
- 平均修復時間(MTTR)
- マイクロサービス
- モニタリング
- 容量計画
- ライフサイクルマネジメント
- リアクティブ・マニフェスト
- リアルユーザーモニタリング(RUM)
- レジリエンス